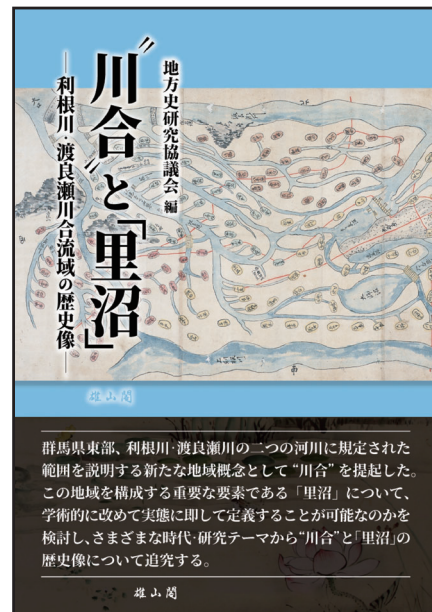


新刊特別割引のご案内 2024年10月15日発売予定

## 地方史研究協議会第七三回 (館林)大会成果成果論集



# 「川合」と「里沼」

—利根川・渡良瀬川合流域の歴史像—

地方史研究協議会 編

予価 7,480 円 (税込) のところ

特別価格 5,900 円 (税込)

+ 送料 380 円

- 2024年10月刊行予定
- ISBN 978-4-639-03004-1
- A5判上製
- 予価(本体6,800円+税)

本チラシでお申し込みの方に限り、2割引にて販売させていただきます。(刊行時定価より2割引)  
この機会にどうぞご利用下さい! (※2024年12月末日限)

### ▼お申し込み欄

お申し込み冊数	冊
お名前	
ご住所	〒 -
電話番号	
*E-mailによる刊行情報配信をご希望の方は、アドレスをご記入下さい。	
E-mail	

### ▼お申し込み方法

- ①必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送で弊社まで直接お送り下さい。  
メールにて必要事項をお送りいただいても構いません。
  - ②商品に郵便振替用紙を同封いたしますので、商品到着後2週間以内のお振込みをお願い致します。
- ※公費でのご購入も承ります。  
必要書類など、お気軽に弊社営業部までお申し付け下さい。

\* 割引は弊社へ直接お申し込み頂いた場合に限りさせていただきます。書店では使用できません。(有効期限: 2024年12月末日限)  
\* 御記入頂いた個人情報は、商品の発送及び弊社からの各種ご案内(刊行物のご紹介など)以外の目的には使用致しません。

皆様からの御注文を  
お待ちしております!

お申し込みはこちら

FAX: 03-3262-6938

Mail: [contact@yuzankaku.co.jp](mailto:contact@yuzankaku.co.jp)

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-6-9  
TEL: 03-3262-3231 FAX: 03-3262-6938

雄山閣

<https://www.yuzankaku.co.jp/>  
振替00130-5-1685 [contact@yuzankaku.co.jp](mailto:contact@yuzankaku.co.jp)

本書は、地方史研究協議会第七三回（館林）大会の成果を、当日の公開講演・共通論題報告をもとにまとめたものである。大会の共通論題は「〴川合、と「里沼」—利根川・渡良瀬川合流域の歴史像—」である。利根川・渡良瀬川二大河川に挟まれた地域を〴川合（かわあい）、と呼称し、その水風景観「里沼（さとぬま）」の歴史像を実証的に明らかにしようとするものである。

## 水場環境の中で紡がれてきた歴史・文化・生業・生活

本書には公開講演二本、共通論題報告八本の論文を、「Ⅰ 拠点・領域認識の形成」、「Ⅱ 生業の諸相と産業発展」、「Ⅲ 環境変容と住民意識」の三部で構成し、それぞれを概ね時代順に配列した。「Ⅰ」には、古代から中世までの開発を通じて形成された政治的拠点や交通の要衝となる渡河点など、近世期における開発によって形成された領域に係る地域住民の領域認識について追究された諸論文を掲載した。「Ⅱ」には、渡良瀬川・利根川流域、「里沼」周辺で営まれる人間生活と生業に関する実相や、近代に入り地域の産業として発展していく過程についての諸論文を掲載した。「Ⅲ」には、環境変化にともなう地域住民の運動や災害に向き合う住民意識の実態を追究された諸論文や、自然環境の改変と消失に関する歴史やこれからの文化財としての保全に関するあゆみと、現代の私たちに向けた「提言」ともなる公開講演を掲載した。（本書「刊行にあたって」より）

### ◎目次◎

序文	久保田昌希
刊行にあたって	大会成果論集刊行特別委員会
Ⅰ 拠点・領域認識の形成	
〴川合、における古代の交通と開発—利根川・渡良瀬川流域を事例に—	高橋人夢
〴川合、の在地領主—利根川・渡良瀬川合流域の拠点形成—	長谷川明則
近世治水政策の地域的対応と地域意識—館林領普請組合の成立伝承を視点に—	小嶋 圭
Ⅱ 生業の諸相と産業発展	
葎・藻草・泥の採取と沼の「環境」——一九世紀中葉～二〇世紀初頭を中心に—	坂本達彦
戦間期における小麦生産と製粉業の発展—利根川・渡良瀬川合流域を中心に—	高柳友彦
水田の多様性と農業の変化—館林市域の事例から—	永島政彦
Ⅲ 環境変容と住民意識	
消えた沼、残った沼—近世館林の沼事情—	佐藤孝之
足尾鉍毒反対運動と〴川合、「里沼」地域—旧谷中村を中心に—	中嶋久人
水場の文化的景観にみる住民の大水対応と意識—国選定重要文化的景観地域の板倉町を中心として—	宮田裕紀枝
〴川合、の町の地域研究—「里沼」の前と後—	前澤和之
第七三回（館林）大会の記録	大会成果論集刊行特別委員会
執筆者紹介	